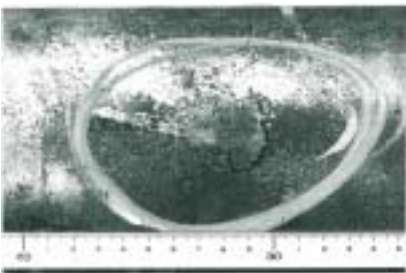



各種成品及び溶接構造物の超音波探傷試験 第1刷 正誤表

章	頁	行	誤	正
1	1	右上 10	400Mpa	400MPa
1	4	右上 5	過速冷却装置	加速冷却装置
1	9	図 1.8(c)	探触子の音響分割面	探触子の音響隔離面
1	10	図 1.10	S1,B1,S2	S ₁ ,B ₁ ,S ₂
1	10	図 1.10	STB N1	STB-N1
2	30	表 2.10	B ₁ +6 ~ 20dB	B ₁ 100%+6 ~ 20dB
2	31	左上 11	B ₁ +12 ~ 20dB	B ₁ 100%+12 ~ 20dB
3	54	左下 2	B ₁	B ₁
3	55	左下 9	平滑	平面
3	55	図 3.11	Sn/S25	Sn/S ₂₅
3	55	左上 8	4 ~ 6S	4 ~ 6S(μ mRz)
3	58	左上 5	35S	35S(μ mRz)
3	59	右上 11	35S	35S(μ mRz)
4	76	右上 14	12.5s	12.5 μ mRz (12.5S)
4	78	図 4.8	透過エコー	透過パルス
4	80	左下 5	r.p.m.	rpm
5	90	表 5.8(1)	シューマーク 	シューマーク 
5	92	左上 1	5.2 式	(5.2)式
5	94	右上 5	ない外面	内外面
5	102	表 5.16	3 探触子 管軸方向 25mm、水浸法は 25mm 以下	3 探触子 管軸方向長さ 25mm 以下、水浸法は直径 25mm 以下
5	109	右下 5	KHz	kHz
5	117	右上 16	'	i
5	117	右上 19	$\sin \theta = \sin \{1 - 2(T/D)\}$	$\sin \theta_i = \sin \{1 - 2(T/D)\}$
6	128	図 6.7	T/2	T/4
6	150	右上 2	エコーの検出レベルが著しく低下	エコー高さが著しく低下
8	182	右上 15	100 μ Ry	100 μ Rz
8	184	左下 8	5C5 × 5A90-SH	5C5 × 5HA90
8	191	右下 2,3	KHz	kHz
9	200	左下	探傷距離	ビーム路程
9	206	右上 3	フラッシュ溶接	フラッシュ溶接
10	223	表 10.9	深触子	探触子
11	234	図 11.6	人口ノッチの反射波	人工ノッチの反射波
12	256	右下 1	共用期間中	供用期間中
12	258	右下 3	過大な過重	過大な荷重

P129 図 6.8 原子炉容器の距離振幅特性曲線

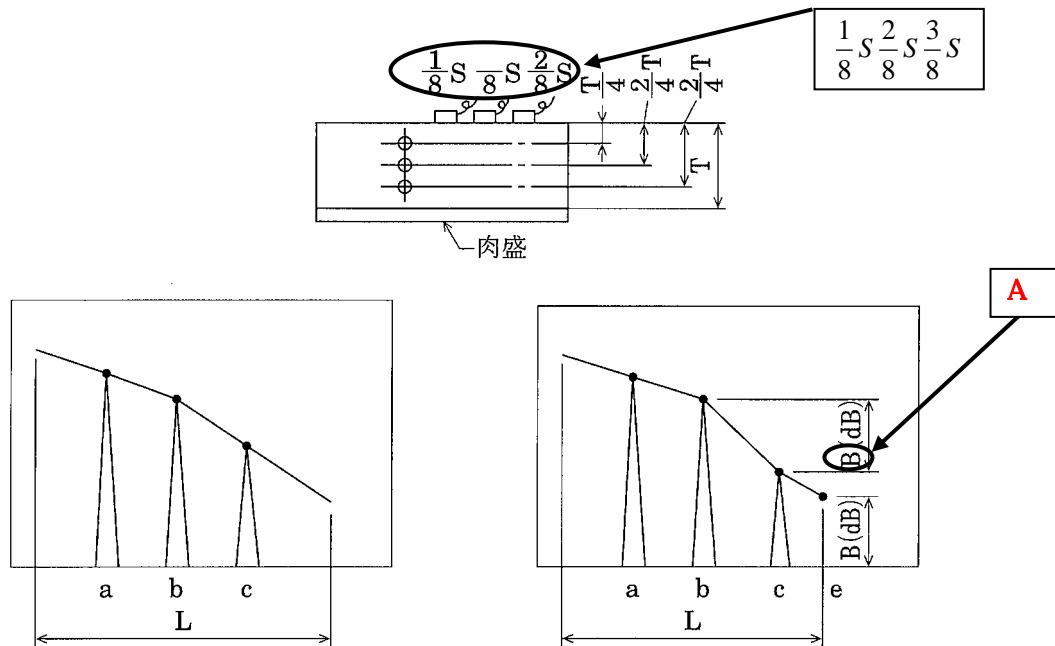


図1 隣合った2点を直線で結びそれを更に延長する方法

注) Lの始点並びに終点における記録レベルが、ブラウン管上5%以上になる場合とする。

図2 減衰量を求めて延長する方法

$$B = \frac{A}{(c - b)} \times (e - c)$$

注) 終点における記録レベルが、ブラウン管上5%以上になる場合とする。
 なお、始点側にあっても同様な考え方で延長してもよい。

図の説明を追加

137 ページ 表 6.10 表中備考欄の図1 **差換え**

